

日本糖尿病学会 中国四国地方会 第60回総会

糖尿病劇場®

令和4年

日時

11月11日 金

17:40 ~ 18:50

広島国際会議場

B 会場 (ヒマワリ)



“情報”

～共有したいのは誰～

糖尿病劇場®は、ありふれた日常場面を切り出し提示します。
医療者の行動・言動、患者の何気ないつぶやき・しぐさに
注目してみることで新たな発見ができるかもしれません。

座長 黒田 暁生
演者 手納 信一
劇団 縁 (えにし)

徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター
島根県糖尿病療養指導士認定機構 研修委員長
島根県LCDEチーム、他

劇場を通して皆さんと一緒に考えたいこと

私たち医療従事者は、患者さんに最善の治療を考えて一生懸命に動いています。しかし、時として、私たちの思いと患者さんの思いがすれ違うことがあります。今回の劇場では“情報”～共有したい私たち と題して、私たちが日ごろ出会う患者さんとの一コマを取り上げ、チームで患者さんに関わる難しさを一緒に考えてみたいと思います。

～ 登場人物&あらすじ ～

おおよろ総合病院に外来通院中の石見さん。つつい食べてしまう間食によって血糖コントロール改善がみられません。担当医師、外来看護師、管理栄養士はそれぞれの立場で何とかしたいと関わりますが、石見さんの気持ちは複雑な様子です。さてチームでどう関わるとよいのでしょうか・・・？

石見 銀次郎（患者） …… 本田 正宏

51歳男性。170 cm/67 kg 空腹時血糖 165 mg/dl HbA1c 8.0%
2型糖尿病治療歴10年。営業職であり外回りが多く食事は不規則。
血糖コントロールを改善したいと思っているが仕事上ストレスも多く、
つい間食をとってしまう。栄養士に勧められ間食記録をしている。



仁多 舞（管理栄養士） …… 岡 香代子

糖尿病療養指導士の資格取得のため研修中の管理栄養士。
糖尿病患者さんの思いに気づく機会も増え、患者さんへの関わり方が
難しいと実感するようになった。

雲南 鹿之助（看護師） …… 小野 悦盛

糖尿病患者を含めて外来診療をテキパキとこなすベテラン看護師。
チーム医療において情報を共有することは当然と思っている。



出雲 オロチ（医師） …… 周藤 和信

糖尿病診療に携わるようになって2年目。コントロール不良患者は、
なぜ間食がやめられないのか理解に苦しむことが多い。



劇団・縁
黒田暁生
手納信一
内藤潤美
守田美和
石原 宏
竹内志津枝
和田里美
倉恒ひろみ

島根県LCDEチーム、他
(徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター)
(手納医院)
(松江記念病院 診療部)
(島根大学医学部内科学講座 内科学第一)
(島根大学人間科学部)
(島根大学医学附属病院 検査部)
(公立豊岡病院内分泌・糖尿病内科)
(川崎医科大学附属病院栄養部)

白石美保
安原みずほ
岡 香代子
本田正宏
渡部晃央
周藤和信
小野悦盛
佐藤悦子
柳楽京子

(大田市立病院 看護部)
(松江赤十字病院 栄養課)
(安来市立病院 看護部)
(雲南市立病院 薬剤科)
(雲南市立病院 薬剤科)
(雲南市立病院 薬剤科)
(雲南市立病院 検査科)
(雲南市立病院 検査科)
(訪問看護ステーションめぐみ)